

第2780地区
クラブリーダーシップラーニング
セミナー



平和フェロー・財団奨学委員会

本日のプログラム

1.ロータリー財団の奨学金制度について

2.グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生の
次年度の募集について

3.ロータリー平和センター・平和フェロープログラムについて

ロータリー財団の奨学金制度について

ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」の理念の下、会員の寄付で運営されており、その一部が「人を育てる」活動として、平和フェローやロータリー奨学生のための奨学金に活用されております。

第2780地区 平和フェロー・財団奨学委員会では、以下の3つの奨学金プログラムを担当しています。

- ・ロータリー奨学金（グローバル補助金）
- ・第2780地区奨学金（地区補助金）
- ・平和フェロー奨学金

ロータリーの奨学金

グローバル補助金奨学生プログラム

グローバル補助金は世界で求められている人道的ニーズや「ロータリーの7つの重点分野」に関連した研究対象を、大学院または同等の研究機関で学ぶ方を支援するプログラムで、期間は1年～2年間、1人あたり34,000ドルが支給されます。

地区補助金奨学生プログラム

地区補助金は海外の大学または大学院で、研究分野や留学先を問わず学ぶ方を支援する奨学金で期間は1年、1人あたり約24,000ドルが支給されます。

但し、地区内に本籍、居住地、通学・勤務先のいずれかがあることが条件

2026-27年度 ロータリー奨学生募集

応募資格

- ロータリアン、ロータリー職員、その直系親族(配偶者、養子を含む)でないこと
- 留学先の言語に堪能で、教育機関から(無条件の)入学許可が得られること
- 2026年7月～2027年6月の間に就学が開始できること



奨学金の種類

A) ロータリー奨学金(グローバル補助金)	募集人数: 若干名
金額	34,000ドル
期間	1～2年
対象	下記の7分野に関連する研究対象で、海外の大学院又は大学院同等以上の機関で学ぶ ①平和と紛争予防/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展 ⑦環境の保護

B) 第2780地区奨学金(地区補助金)	募集人数: 若干名
金額	上限 24,000ドル
期間	1年間にかかる費用のみ
対象	研究分野・留学先を問わず、海外の大学又は大学院で学ぶ方 但し、地区内に本籍、居住地、通学・勤務先の何れかがあること

※いずれの奨学金も、事前に支出項目の承認を得た後、2026年夏に一括支給

選考ステップ

第1次【書類選考】申請書、小論文
2025年10月3日(金)までに、最寄りのロータリークラブ(HP参照)へ申請書類を提出し推薦を得る。

第2次【面接】と【語学試験】

日時: 2025年11月2日(日) 9:00～
場所: 国際ロータリー第2780地区事務所

試験後3日以内に結果発表、全ての応募者へ直接メールでご連絡します。
※合格した場合、11月8日(土)のオリエンテーションに参加が必須となります。

応募にあたっての注意事項

- 第2780地区内にあるロータリークラブの推薦を得ること
- 選考終了後、地区主催のオリエンテーション、及び指定された会合・行事に出席すること
- 留学前/中、帰国後を通して、推薦クラブ、受入クラブ、第2780地区との連絡を維持すること
- 奨学金の使用は、支給開始後にかかる費用に限る(※支払い済みの費用に充てることは不可)
- 留学を終了した後は、学友(OB/OG)活動に参加すること
- 本奨学金を他団体の奨学金の補助として受給することはありません

よくある質問

Q どちらの奨学金の条件も満たしている場合、二重で応募できますか? →グローバル補助金奨学金に応募してください。地区補助金にも同時エントリーされます。

Q 海外からも応募できますか? →応募はできますが、試験とオリエンテーションの際は帰国していただく必要があります。

応募要項

(1) 応募受付 各ロータリークラブで受付(面談) ※地区事務所書類が受理された後、受験者に試験案内が届きます。

(2) 応募〆切 2025年10月3日(金)までに、最寄りのロータリークラブへ

(3) 必要書類

a 奨学金プログラム応募申請書

※国際ロータリー第2780地区HP(<https://rid2780.gr.jp>)『奨学金・留学制度』ページよりダウンロード

※奨学金の種類(グローバル/地区)を確認し、記入してください。

b 小論文(用紙:A4判 横書き 日本語および留学先言語にて各1部提出)

- 得意な学科と今後の課題、職歴、職業上の目的や目標、あなたの人生におけるその他の重要な出来事について明記して下さい。(2枚以内)
- 奨学金を申請する理由、希望専攻分野と将来の職業プラン、及びこれからの計画がどのように国際理解と世界平和というロータリー財団の使命を支援し、貢献しうるかについて説明した詳細な趣旨声明。なお、希望教育機関を選択した理由と選ぶにあたって参照した情報源についても明記して下さい。(2枚)
- あなたの主な関心事や活動についての要約。ただし、それらにおいてあなたが指導的役割を果たしているものであること。講演の経験、社会奉仕等の活動歴があれば併せて明記(1枚)
※各用紙の右上に、あなたの氏名及び推薦ロータリークラブの名前を記入して下さい。

c 教授または上司の推薦状(2人)

平和フェロシシップ(奨学金)に挑戦してみませんか?

ロータリー平和フェロシシップは、平和および紛争解決の分野におけるリーダーを育成・支援するための奨学金プログラムです。世界から選ばれる最高130名のフェローは世界8校の大学に設置された7つの「平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター」のいずれかで、修士課程または専門能力開発修士証プログラムに参加します。

ロータリー平和センター(提携大学)

クイーンズランド大学(オーストラリア)、ブラッドフォード大学(英国)、国際基督教大学(日本)、ウプサラ大学(スウェーデン)、テューク大学、ノースカロライナ大学チャペルヒル校(米国)、マケレレ大学(ウガンダ)、およびバーチェンセル大学(ベルゴ)。

◎詳細と申請方法はこちら

※応募に関して制約事項がある場合がございます。

www.rotary.org/ja/peace-fellowships

ロータリー財団の歴史

1917年、当時のロータリー会長アーチ・クラフが、「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。このビジョン、そして26ドル50セントの最初の寄付が、全世界で多くの人の人生を変える財団へと発展しました。

著名な元ロータリー財団奨学生

元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は、1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた」と緒方氏は振り返ります。

(www.rotary.org より)

申請に関するお問い合わせ

国際ロータリー第2780地区ガバナー事務所

〒251-0065 神奈川県藤沢市南藤沢 22-7-501

TEL: 0466-25-8855 Email: g-office@rid2780.gr.jp

申請書ダウンロード等はこちらから⇒ <https://rid2780.gr.jp/>

ロータリークラブ

【住所】

【電話】

【Email】

次年度の募集について

各クラブ及び大学に募集要項を配布し、募集を行っております。

次年度は2027年2月14日（日）に選考試験を行います。

試験内容は面接と筆記試験、次年度の必須条件にIELTS（アイエルツ）の取得を必須とし語学試験を省略。

合格者の推薦クラブはカウンセラーを決めていただき

オリエンテーション・壮行会や帰国報告会まで参加していただきます。

募集に当たっての注意事項について

第2780地区内にあるロータリークラブの推薦を得ること

合格者は地区主催のオリエンテーションや会合・行事に出席すること

留学前から帰国後を通して、推薦クラブ、受入クラブ、第2780地区との連絡を維持すること

奨学金の使用は、支給開始後にかかる費用に限る

（※支払い済みの費用に充てることは不可）

留学を終了した後は、財団学友（OB/OG）活動に参加すること

本奨学金を他団体の奨学金の補助として受給することは出来ません

昨年11月に合格し7月以降に留学する財団奨学生

グローバル補助金奨学金（GG）

平和と紛争予防/紛争解決/基本的教育と識字率向上

渡辺 碧さん（平塚RC推薦）

環境の保護

戸高 千慧（葉山RC推薦）

経済と地域社会の発展

風間 遥介さん（鎌倉中央RC推薦）

地区補助金奨学金（DG）

伊藤 開さん（藤沢南RC推薦）

財団補助金制度を利用して世界で活躍されている方

緒方貞子さん（おがたさだこ）は、日本人で初めての国連難民高等弁務官として、1991年から2000年まで10年間の任期を務めました。

中満 泉（なかみつ いずみ）さんは、国際連合事務次長・軍縮担当上級代表

山崎 直子（やまざき なおこ）さんは、2010年スペースシャトル“ディスカバリー号”で宇宙へ行った宇宙飛行士

中村 恵（なかむら めぐみ）さんは、国連難民高等弁務官事務所で活躍

緒方貞子さん



中満泉さん



ロータリー平和センタープログラム・平和フェローについて

このプログラムは、ポール・ハリス没後50周年を記念し創設されました。

ポリオ根絶に次ぐ重要なプログラムです。

世界平和と開発の担い手となる人材（平和フェロー）を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築く事を目的とした奨学金プログラムです。

平和研究・紛争解決・国際関係・公共保健・ジャーナリズム・教育など、多様な平和の分野でスキルを高めた平和フェローが卒業後、国際機関、政府機関、世界中のNPO/NGOなど様々な場所でリーダーシップを発揮し、平和の担い手として貢献するようにロータリーが立ち上げました。

平和フェローについて

平和センターの現況

2年間学ぶ「修士号取得コース」は5つのロータリー平和センター（6校の提携大学）

1年間でスキルアップを目指す「専門能力開発修了証コース」3つの平和センター

その平和センターの1つが東京都三鷹市に所在する国際基督教大学にあります。

日本では大学が所在する2750地区を中心に近隣6地区（ホストエリア）と協力して

支援しています。（東京3地区、神奈川2地区、千葉1地区、横浜・川崎1地区）

毎年最大170名が活動歴、学歴、職歴に基づく世界審査を経て平和フェローとして

選考されています。（修士号50名まで、専門能力120名まで）

世界の平和センター

ロータリー平和センターは世界に8カ所と提携大学は9校。

青が修士号取得プログラム 赤が専門修了証取得プログラム

- ★国際基督教大学（日本・東京）
- ★ブラッドフォード大学（イギリス・ブラッドフォード）
- ★デューク大学/ノースカロライナ大学チャペルヒル校（アメリカ・ノースカロライナ州）
- ★クイーンズランド大学（オーストラリア・ブリスベーン）
- ★ウプサラ大学（スウェーデン・ウプサラ）
- ★マケレレ大学（ウガンダ・カンパラ）
- ★バーチェシエヒル大学（トルコ・イスタンブール）
- ★シンビオス国際大学（インド）

7カ所のロータリー平和センターと8校の提携大学



- 修士課程プログラム
- 専門能力開発修了証プログラム

平和フェローの奨学金

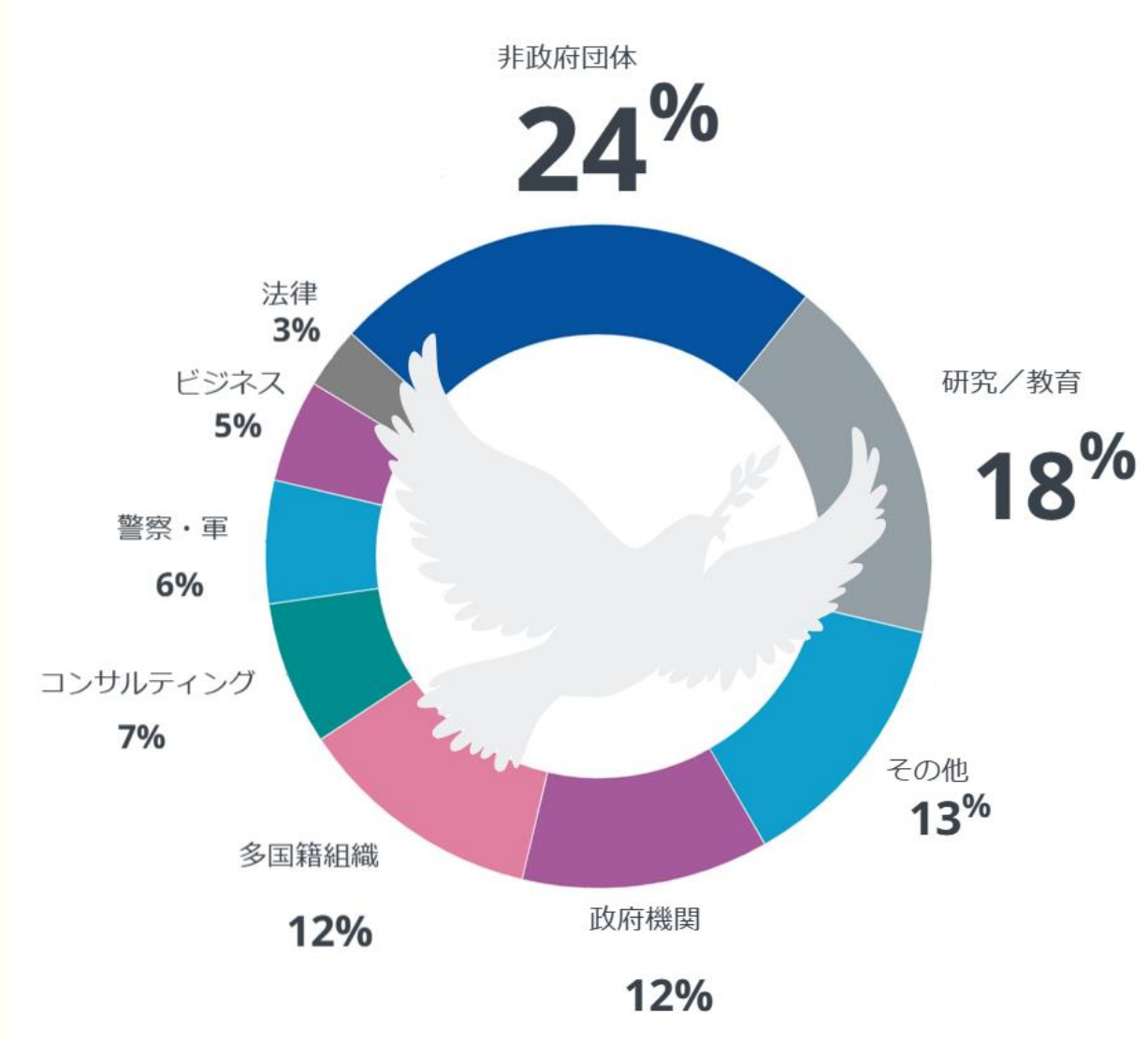
- **修士号コース** 2年間の学費、居住費、生活費、海外実地研修費など
約86,000ドル × 毎年最高50名 430万ドル→約68,370万円
- **専門課程コース** 11000ドル × 毎年最高120名 132万ドル→約20988万円

資金源は世界各地のロータリアン、地区、その他の支援者からの寄付、地区のDDF(地区財団活動資金)からの寄贈、基金の運用益、その他の寄付によって支えられています。

その他平和フェローの日本文化体験会、広島研修旅行、修了を祝う会などの行事の支援を、

各地区から毎年お一人30円のご協力をいただき成り立っています。

平和フェロー進路



ご清聴、ありがとうございました。